

「原子力防災入門講座」

～ 原子力・放射線に係わるすべての人へ ～

災害がもし起きたらどうしますか。

準備は万全ですか。

問い合わせへの説明、放射線がある場所での作業、
避難の判断をどうするか、などなど。
そんな不安を解消しましょう！！



原子力・放射線災害が起きたら普段と何が変わる？

福島事故やJCO事故などの事例から、災害が起きた時に必要とされること（何をするか）が理解できます。



もしもの時に知っておきたい知識

問い合わせに対する説明、放射線がある場所での緊急作業、避難するかどうかの判断等、実際に役立つ知識を学びます。



放射線の測定器はあるが使い方が解らない！

実際に測定器を使い、測定器の用途・使用方法、数値の読み方等がわかるようになります。



緊急時に使用される最前線施設の見学

ひたちなか市にある原子力機構の「原子力緊急時支援・研修センター」を見学することにより、原子力災害時に何が行われるのかを知り、学んだことがより深く理解できるようになります。

「原子力防災入門講座」を開講します。

・・・ 詳細なカリキュラム等については、裏面をご覧ください。

「原子力防災入門講座」

開催日：平成30年2月13日（火）・14日（水）

場所：（公財）放射線計測協会 茨城県那珂郡東海村（原子力機構 原子力科学研究所内）

受講対象：

自治体職員等の防災関係者及び原子力災害発生時に広範な防護活動に従事する可能性のある方

講座の特徴：

原子力防災に関連した広範な講義と放射線防護活動に必要な基礎実習を取り入れた内容となっており、実際の防護活動に有用な基本的知識の習得と放射線測定に係る十分な体験ができます。

カリキュラム： 1日目

時間	項目	内容	備考
9:10	開講式	開講式、オリエンテーション	
9:30 -10:40	放射線・放射能の知識	放射線と放射能、量と単位、放射線の種類と性質、自然放射線と放射性物質、放射線測定器の基本	
(休憩 10分)			
10:50 -12:00	原子力災害の特徴	過去の原子力災害の例、原子力施設等と原子力災害の特徴、放射性物質の環境中での挙動、ふるまい、沈着	
(昼休み 60分)			
13:00 -14:10	原子力防災活動の知識	原子力防災対策関係法令、指針等の概要、緊急事態の区分、緊急時の活動	
(休憩 10分+実習準備)			
14:30 -15:50	(実習1) 放射線測定器（サーベイメータ等）の操作・測定体験、距離・遮への効果確認		
(休憩 10分)			
16:00 -17:20	(実習2) 空気中の放射性物質の採取・測定と減衰確認		

2日目

時間	項目	内容	備考
9:10 -10:10	放射線の人体影響と防護の基本	放射線の人体影響、環境放射線モニタリング、放射線防護の方法	
(休憩 10分、実習準備)			
10:20 -11:20	(実習3) 防護服の着脱体験、表面汚染検査体験		
(休憩 10分)			
11:30 -12:10	質疑応答、テーマ討論 アンケート、修了式		
13:10 -15:00	施設見学（オプション：希望者が多い場合に実施） 日本原子力研究開発機構 原子力緊急時支援・研修センター（NEAT）		

（募集人員）20名 申し込み先着順に受付

（受講料） 19,000円

（問合せ、申込み先） （公財）放射線計測協会 研修・普及グループ

TEL：029-282-0421 FAX：029-282-0466 E-mail：kensyuka@irm.or.jp

Web：http://www.irm.or.jp